

令和3年度京田辺市社会福祉協議会事業報告書

新型コロナウイルス感染症は収束することなく、今もなお私たちの暮らしや生活スタイルに大きな影響を与え、これまで当たり前に行っていたことから制限されたなかでの「新たな生活様式」への対応が求められています。また、人と人との社会的なつながりがさらに希薄化し、貧困や虐待、生活課題等がますます深刻化することが懸念されています。

本会におきましても、昨年度から引き続いて、多くの事業が中止や延期を余儀なくされた一年となりましたが、『お互いさんの心と絆ではぐくむ心豊かなまち 京田辺』の基本理念のもと、関係機関や団体、行政と協働し事業を推進しました。

特に小地域福祉活動の推進事業では、「I♡京田辺ふれあいワークショップ」を書面形式で行い、地域の強みや課題の整理を通して、これからの課題解決や横のつながり強化等につなげていきます。

在宅サービス事業では、一日リフレッシュ事業は中止しましたが、3回シリーズでの「介護のいろは」の開催や、定期的な介護者交流会を開催することができ、介護保険事業（居宅介護・訪問介護・通所介護）においても滞りなく実施することができました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響による見通しが見えないなかで、各種事業や業務のあり方を見直し、感染拡大防止に配慮して、創意工夫を図りながらの実施、新たな地域福祉活動の展開に向けた取り組みを進めてまいります。

本会の運営並びに社会福祉事業の推進にご理解、ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます、以下のとおり報告いたします。

1 社協組織の基盤整備と関係団体との連携強化

(1) 社協基盤の強化と組織活動の充実

① 社協会員加入状況（※カッコ内前年度）

7、8月の2ヶ月間を社協会員募集月間とし、各分会において地域役員の協力ならびに市内の各福祉施設や団体へ会員の募集を行いました。

会員数：7, 118名（7, 230名）

内訳 普通会員：6, 438名（6, 474名）

特別会員：645名（714名）

賛助会員：27名（29名）

その他、施設会員：8施設（13施設）

② 支部、分会組織の活動の推進と助成金の交付

小地域福祉活動の基盤と組織的活動の推進をはかるために活動費を交付しました。

・26分会（456, 931円）

(2) 財源の確保と造成（※カッコ内前年度）

① 会費総額：4, 303, 379円（4, 381, 200円）

② 寄付金総額：822, 580円（1, 401, 453円）

一般寄付（個人、団体、分会）35件の寄付を賜りました。

③ 第42回チャリティーバザーの開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

ただし、ミニバザーの実施（11/9～11/30）売上：39, 050円

(3) 共同募金事業 (※カッコ内前年度)

① 赤い羽根共同募金

区・自治会(分会)や市内企業の協力を得て、市内での募金運動を展開しました。

・募金総額：3,757,775円(4,027,316円)

内訳 戸別募金：3,297,791円(3,350,722円)

企業募金：322,337円(532,400円)

その他：137,647円(144,194円)

令和2年度の募金額をもとに京都府共同募金会からの配分金(2,242,676円)により各種事業(当事者団体や福祉協力校への助成、社協だよりの発行、弁護士相談委託料、喫茶りあんの運営等)を実施しました。

② 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに12月1日から募金運動を実施し、集められた募金は、京田辺市共同募金委員会・審査委員会において審議し、年末、年始にかけて次のとおり配分しました。

・募金総額：3,763,152円(3,551,966円)

内訳 戸別募金：3,610,976円(3,190,213円)

その他：152,176円(361,753円)

配分内容	金額	備考
見舞金(621名)	1,863,000	(見舞金) 身体障害者手帳保持者(1.2級):341名 療育手帳保持者(A.B):168名 ひとり親世帯:48名 精神障害者(1.2級):64名 (おせち料理) 要介護認定1以上で70歳以上のひとり暮らし高齢者
おせち料理(117名)	404,352	
公募による活動補助(9件)	175,000	
社協カレンダー(3,000部)	516,000	
支援物資の購入	115,356	
非常食など災害支援物資の整備	142,306	
家計ノートの作成	200,000	
事務費	65,000	
次年度繰越金	282,138	
合計	3,763,152	

(4) 広報、啓発活動

① 社協だよりの発行

「京田辺市社協だより(第173号~第176号)」年4回(6月、9月、12月、3月)発行。ボランティアや福祉情報を掲載して、社協活動への理解と意識の高揚、参加促進をはかりました。

② ホームページによる情報の提供

本会の活動やボランティアグループ等の活動を紹介、啓発するためのホームページを

適時更新しました。

③ SNSの活用

公式LINEやインスタグラムを開設し、効果的な情報提供やPRに努めました。

(5) 社会福祉センターの指定管理（※カッコ内前年度）

① 社会福祉センターの指定管理

・開館日数：273日（290日）

新型コロナウイルス感染症拡大により4月25日から5月31日まで、8月20日から9月30日まで閉館。

・年間利用件数：2,410件（2,578件）

・年間利用者数：24,291名（26,335名）

② 社会適応訓練事業所「喫茶りあん」の運営

精神障害のある方の社会参加や就労支援を進めるために事業所で働くことを通して社会生活適応のための場として10年が経過しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、営業時間を短縮（11時～13時または14時）して運営を行いました。

・営業日数：136日（136日）

・年間利用者数：2,653名（3,235名）

○りあんへいこっ！プロジェクト（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

③ 「いつでもだれでも」の開設（年19回）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5回中止）

乳幼児の親子の子育てを支援するために、親子同士の交流や悩みなどを意見交換し合える居場所づくりにと、原則月2回第1・3水曜日に講習室を開放しました。

・年間参加者（親子、学生ボランティアなど）：411名（239名）

④ 第6回社会福祉センターふれあいまつり（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

(6) 会務の運営及び運営組織の見直し

① 理事会 5回

② 評議員会 2回

③ 監事会 1回

④ 専門委員会等

・ふれあい福祉委員会 3回

・在宅サービス委員会 1回

・ボランティアセンター運営委員会 2回

⑤ 共同募金運営委員会・分会長会 2回

(7) 役職員研修会等への参加

①ふれあい福祉課関連

福祉サービス苦情解決事業セミナー、地域福祉コーディネーターリーダー研修会、福祉職場研修担当リーダー研修、福祉職場組織力向上セミナーI、福祉リーダーの極意を学ぶセミナー、地域福祉コーディネーターリーダー研修会、チームビルディング研修、きょうとこどもの城づくりフォーラム、市町村社協ボランティア担当者会議、福祉サービス利用援助事業生活支援員及び専門員現任研修、生活支援員新任研修、関係

機関団体等との連絡会議、山城北中部広域社協合同講座（事例検討会）、成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎・応用）、家族支援実践研修会

②在宅サービス課・ホームヘルプセンター関連

キャリアアップ研修（チームリーダー）、家族支援実践研修会、福祉職のためのメンタルヘルスケア研修、福祉職場におけるケース記録の書き方セミナー、社会福祉士実習指導者講習会、京田辺市介護支援専門員等研修、京田辺市障がい者福祉講演会、BCP作成研修～感染症編～、義務化のポイントと事故防止体制強化について

③在宅サービス課・ケアプランセンター関連

京田辺市介護支援専門員等研修

④在宅サービス課・常磐苑デイサービスセンター関連

キャリアアップ研修（管理者）、社会福祉法人役員・施設長等運営管理職員研修、老人施設看護職・介護職等研修、BCP作成研修～感染症編～

2 小地域福祉活動の推進と普及

（1）I♥京田辺ふれあいワークショップ（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

区・自治会長をはじめ、民生委員や社協役員等に令和元年度に実施したワークショップでの「地域の課題と強み・自慢についてのアンケート調査」を実施しました。結果（回答数180件）については、今後のワークショップや研修会等に活用していきます。

（2）地域ひとつなぎ事業

高齢者の孤独や孤立を防ぐことを目的に、住民や地域組織主体で展開される戸別の訪問活動への支援をする「地域ひとつなぎ事業」として助成金を交付しました。

・助成団体（3団体）：一休ヶ丘、南山西分会、東区第4ブロック安全安心見守り隊

（3）ふれあいサロン活動（※カッコ内前年度）

地域（区・自治会(分会)）において、高齢者の地域参加の促進や見守り、子育て支援、住民同士の交流などを目的とした活動に対し支援を行いました。

・活動助成金交付額：776,050円（723,100円）

・交付を受けた分会団体等数：17件（17件）

分会等：三野、花住坂、薪、一休ヶ丘、東住宅、草内、飯岡、南山東、多々羅、普賢寺、山手南ローズ会、打田ファミリー、ふくろう会、大住ヶ丘民児協、子育てさくらんぼ、にこにこ茶話会、東区第4ブロック

（4）第9回きょうと地域福祉活動実践交流会（参加者11名）

令和3年11月30日（火）宇治茶会館及び京都府内24市町村のサテライト会場で、「地域づくりの『いろは』から想像する新しいつながりの創造」をテーマに、東京都立大学の室田准教授を講師にお招きし、講演、実践報告、意見交換の三部構成で実施しました。

当日は、本会場、サテライト会場、ストーリーミング配信を合わせて約530人の参加があり、府内の実践者が交流を行い、互いの活動の意義を再確認する場となりました。

(5) 絆ネット構築支援事業

① 地域ネットワーク会議及び地域活動支援

地域の連携について協議を行う地域ネットワーク会議およびサロン・見守り等地域福祉活動の支援を行いました。

- ・地域ネットワーク会議：1地域・2回実施

実施地域：一休ヶ丘

- ・地域活動支援：9地域（のべ20地域）・46回実施

実施地域：府営団地、草内、多々羅、大住ヶ丘、松井ヶ丘、田辺、興戸、健康村、南山西

② 絆ネットアンケート

区・自治会（区長・自治会長、社協役員、民生委員）計243名を対象にコロナ禍のサロン・見守り活動・地域ネットワーク会議についてアンケート調査を行いました。

絆ネットアンケート調査概要			
	サロン活動実施状況	見守り活動実施状況	地域ネットワーク会議
継続・再開	22地域/47地域(47%)	33地域/47地域(70%)	希望する 19地域/47地域 (40%)
予定・検討	15地域/47地域(32%)	7地域/47地域(15%)	
中止・不明	31地域/47地域(66%)	19地域/47地域(40%)	

※サロン活動・見守り実施状況回答を3つに分類して集計。
(継続・再開、再開予定・再開検討、中止・不明の3分類)

③ 関係機関との連携

関係機関会議に出席し、連携体制の構築に努めました。

関係機関連携概要		
	回数（うち書面開催）	延べ出席者数
市役所包括ケア会議	1	15
宝生苑包括ケア会議	6	92
常磐苑包括ケア会議	2（1）	19
生活支援コーディネーター会議	9	36
自立支援協議会 (地域生活支援部会)	6（2）	42
消費生活センター	3	8
その他	1	3
合計	28（3）	215

④ 絆ネット研修会

- ・単位民生児童委員協議会研修会（3回） 社会福祉協議会について
- ・絆ネットまちづくり市民サポーター研修会（コロナにより中止）
- ・絆ネットまちづくりサポーター企業研修会（コロナにより中止）

3 福祉教育・ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア登録と受給調整（※カッコ内前年度）

- ・登録団体：48団体（49団体）
- ・準登録団体：10団体（10団体）

- ・登録者数：1, 230名（1, 164名）内個人ボランティア80名（87名）
- ② リフトカー「ふれあい号」及び「やまびこ号」による送迎サービス
 - ・利用登録者：82名（82名）
 - ・運行回数：431件（613件）
 - ・送迎ボランティア：21名（23名）
 - 安全運転講習会の実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ③ ふれあいテレフォンサービス事業の実施

ボランティアグループ「たんぼぼ」7名が、自宅や社会福祉センターのテレフォン室から各対象者に電話による友愛訪問、安否確認を行った。（※カッコ内前年度）

 - ・サービス利用者：18名（20名）
 - ・サービス回数：247回（336回）
 - ・通話延べ時間：1, 686分（2, 954分）
 - 七夕まつりの開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - テレフォンサービス交流会及び研修会（同上）
- ④ 活動基盤整備事業
 - 活動機材（コピー機、ボランティアルーム、倉庫）の管理
 - 本会登録ボランティアのボランティア保険への加入（基本Aプラン300円）
 - モバイル Wi-Fi ルーターの貸出
 - アクリルスタンドの貸出
- ⑤ 「声の広報ほっと京田辺」「声の京田辺市議会だより」「声の学びの情報誌」の受託

市からの委託を受け、朗読ボランティアサークル「せせらぎ」（CDへの吹き込み）、点字サークル「すみれ」（点字シールの作成）の協力により作成し、視覚障がい者など希望者へ送付しました。

 - 「声の広報ほっと京田辺(60分)」は年間16回（各28本制作）
 - 「声の京田辺市議会だより(60分)」は年間4回（各21本制作）
 - 「声の学びの情報誌(60分)」は年間4回（各10本制作）
- ⑥ コミュニケーション事業の受託
 - 点訳奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和3年4月9日（金）～7月30日（金）[全8回]
 - ・講師：田辺点字サークル「すみれ」会員 受講者：14名（内修了者10名）
 - 朗読奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和3年10月6日（水）～12月15日（水）[全10回]
 - ・講師：朗読ボランティアサークル「せせらぎ」会員 受講者：9名（内修了者8名）
 - 要約筆記奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和3年10月7日（木）～11月11日（木）[全6回]
 - ・講師：要約筆記サークル「たけのこ」会員 受講者：6名（内修了者6名）
- ⑦ ボランティア活動へのきっかけづくり
 - ボランティア養成講座（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - TANABE♡PROJECT

学生がボランティア活動や地域の人たちと出会い関わりを持つきっかけづくりに向けて、「同志社大学ボランティア支援室」、「同志社女子大学ボランティア活動支援センタ

一」及び関係機関との調整、検討を行いました。

- ・エール交換プロジェクト
- ・フードバンク食品配布会

⑧ ボランティアグループ活性化促進事業（6グループ）

○市民ねっと楽学塾（まちづくり市民ねっと京田辺）

- ・実施日：令和3年7月15日、8月19日（木）参加者：延べ35名
- ・講師：藤井 功 氏（元同志社大学講師）
- ・内容：SDGsについてわかりやすく学びました。

○悠隣館での交流イベント（チームせせらごおスマイルダイニング）

- ・実施日：令和3年7月25日（日）参加者：40名
- ・内容：子どもたちが古民家（悠隣館）の家庭的な雰囲気の中で、大学生やボランティアと楽しく交流しました。

○アロマ&フットセルフケアセミナー（NPO法人日本予防医学代替医療学院）

- ・実施日：令和3年9月30日（木）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○健康音楽会（健康つば愛好会）

- ・実施日：令和3年10月31日（日）参加者：14名
- ・講師：三木 麻衣子 氏（ソプラノ歌手）
- ・内容：健康音楽会を Kinkoya カフェにて開催しました。体の緊張をほぐす呼吸法やつば体操をしてから、一休宗純にまつわる「一休閑話」を聴き、心も体もリラックスしました。

○認知症予防ボランティア養成講座（スペース・虹）

- ・実施日：令和3年11月8日（月）～10日（水）参加者：10名
- ・講師：中村 都子 氏（NPO法人認知症予防ネット副理事長）
- ・内容：「みんなの認知症予防ゲーム」についての知識と技術を学び、地域でのサロン等で活躍していただくリーダー養成を行いました。

○朗読研修会（朗読ボランティアサークル「せせらぎ」）

- ・実施日：令和4年2月4日、25日（金）参加者：9名
- ・講師：栗山 かおり 氏（朗読家）
- ・内容：発声練習や呼吸法、滑舌、正しい文書の表現など、ひとり一人が聞き取りやすい収録に向けて学びました。

⑨ フードバンク活動の運営

各家庭で余っている食品を収集して、必要とする福祉団体等へお渡しする活動と調整を行いました。また、取り組みを周知するための啓発活動も併せて行いました。

[フードドライブの実施状況]

- ・コープ京田辺店 毎月第1土・日曜日
- ・エコパークかんなび 営業時間内
- ・ダイエーくずは店 毎月第3週月～日曜日
- ・アルプラザ京田辺店 毎月第2土・日曜日
- ・フレスト松井山手店 毎月第1土・日曜日
- ・京田辺市立社会福祉センター 開館時間内

※その他、イベント等で実施

⑩ ボランティア活動の啓発と普及

○ボランティアの活動展

- ・開催日：令和4年2月8日（火）～13日（日）アルプラザ京田辺店セントラルコート
- ・内容：アルプラザ京田辺店のセントラルコートをお借りして、ボランティアグループの活動の様子を紹介したり、日替わりブースにてPRする場を設けました。また、“「できたらいいな」の思いをのせて”をテーマにメッセージを募集しました。

⑪ 組織強化事業

○ボランティアグループへの活動助成金の交付

[京田辺市社協からの助成金：481,950円]

- ・1次募集：387,000円（13グループ）
- ・2次募集：94,950円（4グループ）

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、2回に分けて募集の受け付けをしました。また対面でのヒアリングを取りやめました。

[京都府社協からの補助金：198,000円]

- ・スタートアップ支援補助金（ほっぷ）：198,000円（6グループ）

○バス借り上げ補助金：200,000円（2グループ）

○ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・活動補助金の交付：150,000円
- ・管外研修（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

⑫ 災害ボランティアセンターの運営と体制強化

○災害ボランティア事前登録者の状況（※カッコ内前年度）

- ・事前登録者：個人48名（50名）、団体名4団体（4団体）

○研修会等への参加

- ・令和3年度京都府災害ボランティアセンター総会全体研修会（参加者2名）
令和3年6月5日（土）オンライン会議
- ・京田辺市シェイクアウト訓練
令和3年11月5日（金）
- ・令和3年度避難所運営訓練（参加者1名）
令和3年11月14日（日）大住小学校
- ・初動支援チームフォローアップ研修及び災害支援コーディネーター養成講座
令和3年11月16日（火）オンライン会議
- ・大住小学校福祉学習（防災について、防災カードゲームと災害非常食の紹介）
令和3年12月14日（火）大住小学校6年2クラス41名
- ・令和3年度「防災とボランティア週間（1/15～1/21）」の取組
社会福祉センターで災害ボランティアセンター啓発パネルと災害非常食の展示
- ・令和3年度京田辺市防災講演会「3月11日に家族が体験した津波」
令和4年1月18日（火）中央公民館（参加者7名）
講師：宮本 英一氏（消防庁災害伝承10年プロジェクト語り部）
- ・令和3年度防災とボランティアのつどい
「新潟県中越地震、中越沖地震以降のボランティア活動の連携・協働」
令和4年2月6日（日）オンライン会議（参加者1名）

- 京田辺市災害ボランティアセンター設置・運用研修
 - ・開催日：令和4年3月10日（木）
 - ・内 容：ZOOM を利用した通信訓練
- 災害ボランティア出前講座：なし
- 京都府災害ボランティアセンターでの災害支援活動：なし

(2) 福祉教育の推進事業

① 市内小中学校への助成金の交付と福祉教育の推進

福祉教育の実践と将来を担う子供たちへ「福祉の心」を育むべく、各学校単位で独自取り組む福祉教育活動を支援するために助成金を交付しました。

小・中学校	各学校での主な取り組み	補助金額
松井ヶ丘	手話体験(3年)、アイマスク体験(4年)、車いす体験(5年)、 認知症サポーター養成講座(6年)	30,000円
大住	手話体験(4年)、アイマスク点字体験(4年)※中止、車いす体験(5年)、 防災学習・認知症サポーター養成講座(6年)	30,000円
桃園	昔遊び(1年)※中止、アイマスク体験(3年)※中止、点字体験(4年)※中止、 車いす体験(5年)、手話体験(6年)	30,000円
薪	アイマスク体験(3年)、手話体験(4年)、車いす体験(5年)、 認知症サポーター養成講座(6年)	30,000円
田辺	点字体験(4年)、車いす体験(5年)、認知症サポーター養成講座(6年)	20,000円
田辺東	手話体験(1・2年)、点字アイマスク体験(3・4年)、車いす体験(5年)、 認知症サポーター養成講座(6年)	30,000円
草内	昔遊び(1年)※中止、手話体験(2年)、アイマスク体験(4年)、 車いす体験(5年)、認知症サポーター養成講座(6年)	10,000円
三山木	昔遊び(1年)※中止、アイマスク体験(3年)、手話体験(4年)、 車いす体験(5年)	30,000円
普賢寺	昔遊び(1年)、アイマスク体験(3年)、車いす体験(4年)、点字体験(5年)、 認知症サポーター養成講座(6年)	30,000円
田辺中	手話体験(1年)、心待ち運動(福祉施設へ花と干支の置物を贈る)	25,700円
培良中	身体障害者理解・車いす体験(1年)、手話体験(2年)、 認知症サポーター養成講座(3年)	30,000円

② 夏の社会福祉施設等体験学習の実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

4 市民福祉の向上と地域福祉活動の推進

(1) 高齢者福祉事業

- ① 白寿の方への記念品（タオル）の贈呈（26名）
- ② 市内高齢者施設への記念品（タオル）の贈呈（5施設）
贈呈施設：セピアの園、やすらぎの杜、洛南寮、つつきの郷、九十九園
- ③ ふれあい給食サービスの実施（延べ受給者：172名、総配食数：2,746食）
ひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯等対象に友愛訪問による給食サービスを提供

しました。給食調理については、給食調理ボランティアグループ「あじさい」と市内の老人ホーム（洛南寮、セピアの園、つつきの郷、やすらぎの杜）の協力を得、配食にあたっては、配食ボランティア、民生児童委員、分会長に協力いただき、月2回、夕食として配食しました。

○ふれあいの掲示板の発行

○給食サービス・ふれあい昼食会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

⑤ ひとり暮らし高齢者への社会参加促進事業

○ひだまりの会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、洛南寮内での開催が難しく、寮外で地域の高齢者とボランティアスタッフが交流した。

・開催日：令和3年12月14日（火）社会福祉センター 参加者：7名

令和3年12月17日（金）老人福祉センター宝生苑 参加者：5名

内 容：干支の色紙づくり

・開催日：令和4年3月15日（火）社会福祉センター 参加者：9名

内 容：季節の歌と認知症予防ゲーム

○ひとり暮らし高齢者等のふれあい交流会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施について見合わせる）

⑥ ひとり暮らし老人の会「むつみ」の支援（会員数：55名）

○主な活動：倶楽部活動（夢倶楽部（太極拳）、彩倶楽部（認知症予防ゲーム））について、7月より時間と人数を制限して実施、会員へのお誕生日カード送付、会報の発行について実施（87号、88号）

⑦ コスモス喫茶（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・ボランティアコスモス活動休止）

⑧ ひとり暮らし高齢者への「ふれあいCD」の発刊

ひとり暮らしの高齢者へ朗読ボランティアサークル「せせらぎ」の協力を得て、毎月1回「せせらぎおしゃべり訪問」のCDを作成し、15名（3月末現在）に送付しました。

⑨ 市老人クラブ連合会とひとり暮らし老人の会「むつみ」への助成

（2）障がい者福祉事業

① 「障害者週間」啓発事業

綴喜二市二町において、「障害者週間」の意義を啓発することを目的に実行委員会を組織し、京田辺市社協が当番を担い事業に取り組みました。

・啓発活動

12月3日から9日までに障害者施設、公共施設等で啓発物品（ウェットティッシュ）の配架による啓発活動を行いました。

・記念式典及び記念事業

12月3日から9日まで、インターネット配信による記念事業に取り組みました。

記念式典：開会挨拶、来賓祝辞、障害者社会参加宣言等

記念講演：演題「あきらめない心」※バイオリン演奏も含む

講師 伊藤真波さん

（日本初義手の看護師、北京ロンドンパラリンピック競泳日本代表）

配信申込数：70件、配信閲覧数：230件

インターネット環境のない方を対象とした視聴会も実施しました。

京田辺市 令和3年12月6日(月)・7日(火) 14:00～15:30

京田辺市立社会福祉センター第1研修室 参加者：27人(2日間)

② 障害者団体への助成と行事等への支援

・助成団体：身体障害者協会、聴覚障害者協会、視覚障害者協会、難聴者協会

③ 買い物支援活動

移動が困難な人を対象に月1回土か日曜日に送迎・配食ボランティア「やまびこ」の協力により買物支援を行った。(※カッコ内前年度)

・利用登録者数：10名(9名)

・利用者延べ数：8名(13名)

④ 障害者交流事業・障がい者のつどい(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

⑤ 京田辺市障がい者スポーツ大会・友遊フェスタ(同上)

(3) 青少年児童福祉事業

① 子育て講演会の開催

・開催日：令和3年11月17日(水) 参加者：19名

・講演会：講師 迫 きよみ 氏(NPO法人子育てを楽しむ会 代表)

中辻 志保 氏(NPO法人子育てを楽しむ会 副代表)

演題 『子育てをもっと楽しく♪親と子と地域と深まるコミュニケーション』

② 子育て応援セミナー(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

③ ひとり親家庭小学校入学児童へ祝品(図書カード)の贈呈(7世帯)

④ ひとり親家庭への支援

○親子ふれあいの集い(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

○親と子どもの居場所づくり(同上)

○クリスマス会の開催

親子でクリスマスリースづくりとパフォーマンスショーを楽しみました。

・開催日：令和3年12月12日(日)

・参加者：33名(内子ども19名)

⑤ 団体への助成

⑥ 京田辺市子どもの主張大会

市内の子どもたちが日ごろ感じたことを発表する「子どもの主張大会」(令和3年11月28日(日)開催 来場者72名※座席指定で保護者及び学校関係者のみ会場で観覧)で、発表した児童、生徒に記念品として図書カードを贈りました。

⑦ 児童虐待防止推進月間

社会福祉センターにおいて、啓発グッズの設置等により啓発活動を行いました。

(4) ふれあい福祉センター事業(※カッコ内前年度)

心配事や不安など日常生活で抱える様々な問題について解決の糸口を見つけられるよう常駐の相談員を配置するとともに、有識者や専門家による相談窓口を開設。

(相談内容：1位 生計問題375件、2位 人権や法律問題、財産のこと357件)

- ① ふれあい相談室(月～金曜日の午前9時～午後4時)の開設
- ・相談件数：1,032件(975件)
 - ・取扱方法：電話757件、来所251件、その他24件
- ② 心配ごと相談所(原則毎月10日、25日 午後1時30分～午後4時)の開設
- ・相談件数：5件(8件)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：4、5、8月)
- ③ 専門相談の開設
- 弁護士相談(年9回、京都弁護士会)
 - ・相談件数：54件(48件)(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：4、5、8月)
 - 司法書士相談(年10回、京都司法書士会)
 - ・相談件数：45件(42件)(同上：5、9月)
 - 税務相談(年4回、近畿税理士会宇治支部)
 - ・相談件数：16件(15件)
 - 成年後見制度相談(年9回、成年後見センター・リーガルサポート京都支部)
 - ・相談件数：8件(10件)(同上：4、5、8月)
 - これからのこと相談(年10回)
 - ・相談件数：4件(8件)(同上：4、5月)
- ④ 相談員によるセミナーの実施
- 第1回セミナー
 - ・開催日：令和3年11月24日(水)
 - ・講師：井上 摩耶子 氏(ウイメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー)
 - ・テーマ：「相談者との向き合い方」～カウンセリングとケースワークの違いとは～
 - 第2回セミナー
 - ・開催日：令和4年2月3日(木)
 - ・講師：岡田 洋之 氏(サポートスペースゆまほほ)
 - ・テーマ：「ひきこもりについて学ぶ」～ひきこもりの現状と対応方法～
 - ケース検討会を11・2月に実施

(5) 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)

原則毎月1回(30日)に「これからのこと相談」の窓口を開設しました。生活支援員等による支援した利用者は38名。

(6) 貸付事業

① 生活福祉資金の貸付状況 (※カッコ内前年度)

種 類	件 数	世帯数	貸付金額(円)
総合支援資金	1(0)	1(0)	261,000(0)
教育支援資金	16(24)	8(12)	7,170,000(9,359,000)
福祉資金・福祉費(生活必需品等)	7(4)	7(4)	461,000(412,000)
福祉資金・転宅費	0(3)	0(3)	0(830,000)
福祉資金・緊急小口資金	0(2)	0(2)	0(200,000)
合 計	24(33)	16(21)	7,892,000(10,801,000)

② 生活福祉資金償還状況の報告

各地区の民児協会長、借受者担当民生委員へ報告書を提出し、滞納者については担当民生児童委員と連携して償還について検討対応しました。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

※制度開始（令和2年3月25日～）からの累計

貸付件数：1,369件 貸付金額：約5億4000万円

○緊急小口資金：559件

○総合支援資金特例貸付（初回）：374件

○総合支援資金特例貸付（延長貸付）：201件

○総合支援資金特例貸付（再貸付）：235件

④ 生活困窮者のための年末年始等支援物資配布事業（京都府地域交響プロジェクト）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活に困窮する世帯に対し、年末年始を安心して過ごしていただくため、食料品や生活必需品を配布しました。

（200世帯へ8品目＋フードバンクからの提供品）

5 在宅福祉・介護保険事業の推進

（1）ホームヘルプセンター事業

介護保険制度における要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業と自立認定を受けた高齢者及び支援が必要と認められた産前・産後の産婦の方に対するホームヘルプ事業と、障害者総合支援法に基づく身体障害者、知的障害者、精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業及び移動支援事業を展開し、自立と社会参加の促進に向けたサービスの提供を行いました。

① 職員体制

センター長（サービス提供責任者兼務）1名、サービス提供責任者5名、非常勤ヘルパー20名で業務にあたりました。

② 派遣活動実績

（※カッコ内前年度）

区 分	派遣延べ回数	利用者実人数
介護保険（訪問介護）	6,036回(6,228回)	85人(91人)
介護予防・日常生活支援総合事業 （介護予防相当）	1,126回(1,323回)	28人(30人)
障害福祉サービス（居宅介護）	802回(1,055回)	11人(13人)
障害福祉サービス（重度訪問介護）	0回(0回)	0人(0人)
高齢者生活支援ヘルパー派遣事業（市委託）	38回(0回)	4人(0人)
産前産後ヘルパー派遣事業（市委託）	333回(203回)	22人(15人)
生活サポート事業（市委託）	0回(0回)	0人(0人)
移動支援事業（市委託）	77回(104回)	9人(5人)
介護保険外サービス	49回(48回)	5人(5人)

③ 会議及び研修の実施

利用者の状況やサービスの内容などの確認や検討及びヘルパー間で情報が共有できるよう常勤、非常勤職員による合同会議を概ね月1回行いました。利用者への適切な対応がはかれるよう接遇や緊急時対応の研修や、産前産後ヘルプ活動のための研修を開催しました。

④ ヘルパーの健康管理事業等

- ・健康診断の実施
- ・インフルエンザ予防ワクチン接種に対する補助

⑤ 保険制度等への加入

福祉事業者総合保障制度（傷害保険、賠償責任保険）ならびに労災保険への加入

(2) デイサービス事業

要介護、要支援の認定を受けた方が対象となる地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業等のサービスを提供。

① 職員の配置

センター長1名（常勤・介護職員兼務）、介護職員11名（常勤2名、非常勤9名、内3名生活相談員兼務）、機能訓練指導員3名（常勤1名、非常勤2名看護職員兼務）、看護職員3名（非常勤、内2名機能訓練指導員兼務）、運転職員1名（非常勤）を配置し業務にあたりました。（実人数12名）

② 事業実績

(※カッコ内前年度)

区 分	延べ利用回数	利用者実人数
介護保険（地域密着型通所介護）	2,634回（2,951回）	48人（43人）
介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防相当）	527回（410回）	8人（6人）

③ サービス内容

個別機能訓練、レクリエーション、生活相談、健康チェック、健康指導、入浴、昼食、送迎等の各サービスの提供、個別通所介護計画の作成（昼食の調理は、セピアの園に委託）

④ 運営推進会議の開催（2回）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議事資料を配布し、意見等を諮ることで実施しました。

⑤ 事業実施の調整及び研修の受講等

利用者の健康状態や情報の共有、デイサービスの運営など職員間で意見交換を図るため月1回職員会議を実施しました。

(3) 居宅介護支援事業

介護保険事業における居宅介護支援事業者として、ケアプランの作成、介護保険サービス事業所や関係機関との連絡調整等、要介護認定に伴う訪問調査を実施。

① 職員の配置

センター長1名（主任介護支援専門員）のもとに、介護支援専門員（ケアマネジャー）

を5名（介護福祉士4名、保健師1名）で業務にあたりました。

② 事業実績

(※カッコ内前年度)

区 分	給付管理月平均、実利用者等
介護保険（居宅介護支援）	給付管理月平均：154件（165件）
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（市委託）	実利用者数：6人（4人）
要介護認定訪問調査（市委託）	訪問調査件数：67件（43件）

(4) 地域窓口相談事業

相談員1名配置し、要援護者、介護者等の在宅介護に関する総合的な相談にも応じるとともに、相談ニーズに応じた各種の福祉、サービスが総合的に受けられるよう市地域包括支援センター、介護保険サービス事業所等との連絡や調整等を行いました。

① 相談事業実績（※カッコ内前年度）

（相談内容）

・介護保険認定関係	14件（14件）
・在宅サービス関係（住改・福祉用具以外）	4件（3件）
・介護保険住宅改修・福祉用具関係	64件（27件）
・施設入所関係	2件（11件）
・認知症及び精神保健相談	2件（1件）
・高齢者福祉サービスにかかる相談	0件（1件）
・医療、健康にかかる相談	0件（3件）
・介護者（家族）の健康にかかる相談	0件（2件）
・その他	6件（1件）

相談延べ件数：92件（63件）

(5) おたっしや応援事業

市内在住の65歳以上の高齢者を対象に外出する機会や気力が薄れ、体力的にも不安で家にこもりがちの方、交友関係やコミュニケーションをはかりたい方をはじめとして、高齢者が心身ともに元気で健やかに過ごせるよう、介護予防を目的とした内容（血压測定や健康相談、体操やモノづくりなど）で実施。運営にあたっては、社協地域役員をはじめ区・自治会や民生児童委員、老人会などの協力をいただきました。

① 実施地域：7地域（6地域）（※カッコ内前年度）

健康村、田辺、府宮団地、草内、飯岡、多々羅、同志社住宅

② 実施回数：35回（27回）

③ 参加延べ人数：528人（383人）

(6) 認知症サポーター養成講座

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるために認知症について、正しい知識や対応についての講座を実施。

① 一般講座（1回）

- ・開催日：令和3年10月7日（火）受講者：8名
- ② 小中学校（8校）受講者：575名

（7）家族介護支援事業

① 介護者の情報誌「さゝえ」の発行

市内の介護者にむけて、介護講座やリフレッシュ事業等の情報を掲載した情報誌を発行しました。（10月発行）…介護者132名に送付

② 介護講座

在宅でできる介護方法や知識について学ぶとともに、それぞれの問題点や悩みを共有する場として開催しました。

講師：社協ホームヘルプセンター職員およびケアプランセンター職員

会場：社会福祉センター 講習室

○「介護のいろは」の開催

京田辺市民を対象に3回シリーズで、介護の基本から個々のケース対応まで、在宅介護にやくだてていただくことを目的に開催した。（※各回会場は社会福祉センター）

第1回「認知症サポーター養成講座」（3回）

日時：令和3年10月7日（木）参加者8名

講師：社協ケアプランセンター職員

第2回「介護の方法（実技）～在宅介護の排泄介助・ケアについて～」

日時：令和3年10月12日（火）参加者11名

講師：社協ホームヘルプセンター職員

協力：（株）愛安住

第3回「介護の相談会」

日時：令和3年10月21日（木）参加者4名

講師：社協ケアプランセンター職員

協力：（株）愛安住

○いきいきケア講座の開催（2回）

京田辺市立三山木福祉会館と共催で、介護者や市民を対象に在宅介護に生かせる講座を開催した。

第1回「食事の介護講座（調理実習）」

～家族で楽しむクリスマス シニアご飯 介護食アレンジ～

日時：令和3年12月10日（金）参加者6名

講師：高木 あゆみ 氏（冷蔵庫マイスター）

第2回「臨床美術」

～いきいき脳活性化プログラム 雪化粧する樹木を講師と描く～

日時：令和3年12月17日（金）参加者6名

講師：荒木 忍 氏（臨床美術士）

○一日リフレッシュ事業（日帰り旅行）（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○介護者交流会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：4,5,8,9月）

介護者を対象に傾聴ボランティアカモミールや市保健師も交え、介護で抱える悩みや不安などについて意見交換交流会を毎月第4月曜日に実施しました。（参加延べ人数

20名)

(8) ふとん丸洗いサービス事業

在宅で療養中の常時介護が必要な60歳以上の方を対象に、快適な生活環境を保つことと在宅介護を担う介護者の負担軽減を目的に実施。(7月～3月)

利用合計数・・・延べ31件(28件)

(9) 毎日型有料配食サービス(社協のぼんごはん)事業

食事の準備等が困難な高齢者や障害者を対象に、食生活の向上と安否確認することを目的に、夕食を提供。サービス希望者は、会員として登録して、夕食の配食希望日(月曜日～土曜日の内1日以上)と調理方法(一般食、一口食、きざみ食)を選択の上、調理業者が指定日に配食。(調理配食委託業者：城南給食センター [4/1～10/15]、ロンドフードサービス株式会社 [10/16～3/31])

① 事業実績(※カッコ内前年度)

- ・登録会員数：50名(50名)
- ・総配食数：7,154食(6,524食)

② 利用料等

年会費1,000円、480円/食(生活保護受給者は380円/食)を徴収。